



多くの家族連れで賑わった西広海岸海開き

7月1日（日）広川町の夏の始まりを告げる海開きが西広海岸で行われました。

当日は晴天に恵まれ、絶好の海水浴日和になりました。

海開きではシーズン中の安全を祈願する神事後、毎年恒例の宝探しが行われました。「スタート」の掛け声を合図に子どもたちは石の下に隠された宝（引換券）を夢中になって探し、「見つけた！ここにもあった！」と歓声をあげていました。

見つけた宝と引き替えに景品をもらった子どもたちの笑顔はとても嬉しそうで、海開きを訪れた人にとって楽しい1日となりました。



海開きを前に町内の海岸を清掃



6月29日（金）海開きを前に西広海岸など町内の海岸とその周辺の清掃が行われました。

当日は、老人クラブや婦人会、観光協会、商工会、役場職員の約250名が清掃活動を行い、約6トンのゴミが集められ、各海岸は見違えるようきれいになりました。

このきれいな状態が続くようみなさんご協力をお願いいたします。また海岸清掃に参加していただいたみなさん本当にありがとうございました。

かんた 岩崎寛大君囲碁で全国大会出場

県内の小中学生が囲碁の腕を競い合う「第39回朝日少年少女囲碁名人戦県大会」が和歌山市中央コミュニティセンターで開かれました。

広川町からは岩崎寛大君（広小）が出場し、優勝は逃したものの2位となり、全国大会の出場権を手に入れました。

また、6月19日（火）寛大君は教育長室を訪れ、全国大会出場の報告を行い、最後は松林教育長と握手を交わし、全国大会への意気込みを語りました。



わんぱく相撲有田場所

～小学生力士の白熱した取り組み～



6月23日（土）広川町での開催が毎年恒例となった第17回わんぱく相撲有田場所が広川町民体育館で開かれ、町内の小学生約100名を含めた約300名の小学生力士が有田各地から集まり、白熱した取り組みが行われました。

会場では、「はっけよい、のこった」の合図で、小学生力士が体をぶつけあい、土俵ぎわのせめぎ合いに会場からは「がんばれ」などの応援が飛び交いました。取り組みが終わった後は勝敗に関係なく小学生力士に大きな拍手が送られていました。

町内の小学生が水道事務所を見学

6月15・19・26日に、町内各小学校の児童達が水道事務所を見学しました。

見学中は水道事務所職員が水がどのようにして家庭に届くのかを資料や実際の現場を見ながら説明しました。

実際に水がきれいになっていく過程に子どもたちは興味津々で「ここでは何をしているの？」などと質問したり、水道事務所職員からの「なぜ金魚を飼っていると思いますか」などの質問には手をあげ、元気よく答えていました。

3日間で行われた見学で子どもたちは毎日なにげなく使っている水の大切さについて学びました。

